

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年02月26日

計画の名称	亀山駅周辺のにぎわいの再生												
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	亀山市												
計画の目標	<p>亀山駅周辺地区は、市の玄関口としてにぎわってきたが、近年は商業機能の低下や空き家の増加等が顕著となっている。</p> <p>市の玄関口である亀山駅周辺を再生することは、本市のにぎわいの創出や都市価値の向上のためにも必要であり、平成24年には「亀山駅周辺地区まちづくり協議会」も設立され、地域、事業者、行政が一体となった取り組みが積極的に行われ、再生に向けた熟度も高まっている。</p> <p>このような中、市街地再開発事業による都市機能の向上や交流人口の増加、公共交通の拠点である駅周辺の利便性確保等を地域住民とともに推進し、魅力ある中心的市街地の再生を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	82	A	82	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)
1	亀山駅周辺への自動車の進入台数(12時間交通量)を1,769台(H27)から1,890台(H29)に増加 亀山駅周辺へ進入する自動車交通量を測定する。	1769台	台	1890台
2	亀山駅周辺における旅客乗車人員(1日平均)を2,068人(H26)から2070人(H29)に維持 亀山駅における1日平均旅客乗車人員を調査する	2068人	人	2070人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	H32	H33				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	亀山市	間接	(仮称) 亀山駅周辺2ブロック地区市街地再開発組合	—	—	亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業 (亀山駅周辺2ブロック地区)	商業、住宅、駐車場等 A=1.2ha	亀山市	■					82	1.004	—	
												小計						82		
											合計						82			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 亀山市において、目標達成状況やその要因を取りまとめ、事後評価を実施	事後評価の実施時期 平成31年2月
	公表の方法 亀山市のホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成30年度より社会資本整備総合交付金から防災・安全交付金に移行し、事業を実施していることから、現時点で効果は発現されない。今後、防災・安全交付金の評価において、効果の発現状況等を整理する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、防災・安全交付金により、事業を実施し、魅力ある中心的市街地の再生を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	自動車交通量の増加	
	最終目標値	1890台
	最終実績値	1769台
2	鉄道の1日平均旅客乗客人員の増加	
	最終目標値	2070人
	最終実績値	2153人